



[第 02 号議案①]

令和 02 年(2020 年)度 事業計画

＜ 本 部 (P02～07)＞

＜柏さかさい保育園(P08～10)＞

＜柏中央保育園(P11～14)＞

＜牛久みらい保育園(P15～17)＞

＜柏しんとみ保育園(P18～20)＞

＜柏 ECEC 保育園(P21～23)＞



令和02年度 社会福祉法人 童心会 事業計画

1. 事業運営

令和02年4月1日のスタートは、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により事業計画に何らかの影響が考えられる。保育事業の開閉時間の変更や保育活動範囲など、何よりも園児及び保護者、職員たちが感染した場合の運営など、事業計画に影響が発生する可能性はあるが、本事業計画については通常の運営が遂行できることを前提に推進する。

引き続き、法人の保育理念である「やさしい保育」の理念を拡大するために、継続的に保育所からはじめる地域コミュニティとしての地域活性化を図り、保育の質を向上させるために『部会議と職員研修』を強化し、改めて令和02年度も、『組織(もの)・人材育成(ひと)・事業拡充(しきん)』を基本に『設定(きほん)』の実行を推進する。

(1) 組織強化(もの)

理事長 中山勲氏は、限定的な期間をもって柏しんとみ保育園の園長職(2年目)を兼務するが、理事長職としても『法人運営』を業務執行理事と保育アドバイザーと共に下記のように組織化を推進する。

- 部会を通じた組織強化 : 組織の理解
- 保育リーダー(中堅)を通じた組織強化 : ボトムアップの強化
- 理事長研修を通じた組織強化 : 組織と育成の協同

(2) 人材育成(ひと)

『保育リーダー』を中心にした内部研修(定期的な理事長研修や宮川理事との協同による勉強会や研究を実施)と部会と専門リーダー会を継続的に強化する。他、中長期的に人材育成構想(案)/全職員を対象に(カテゴリー別)未来の人材育成構想(リーダーシップ人材)及び新たにクラス内のコミュニケーションと育成構想を策定・検討する。

添付資料:「令和2年度 童心会部会・専門リーダー会(案)」参照

(3) 事業拡充(しきん)

- ① 情報収集 : 都市部の現状と公設民営など視野に入れていく
- ② 園庭拡充 : 継続的に推進(法人全体で利用できる園庭の拡充)
- ③ 環境推進 : 環境整備及び修繕推進

(4) 設定(きほん=法人マニュアル(仮))

令和元年度にマニュアルの策定が完了した。今年度のテーマは法人マニュアルからの実行と研修とし、その結果を改めて反省と修正する。



(5) その他

- ① 外部環境の活用
- ② 人材管理の継続的強化(採用・退職・育成・ケア推進)
- ③ ICT 化強化(電子決済サービス、TV 会議の導入確立)
- ④ 業務委託社(アウトソーシング)の検討
(弁護士・体操指導・賃貸管理・採用委託の業務の検討)

2. 事業体制

(1) 保育園事業

柏市	： 柏さかさい保育園	120 名	定員(145 名 弾力運営あり)
柏市	： 柏中央保育園	90 名	定員(111 名 弾力運営あり)
牛久市	： 牛久みらい保育園	90 名	定員(105 名 弾力運営あり)
柏市	： 柏しんとみ保育園	90 名	定員(109 名 弾力運営あり)
柏市	： 柏 ECEC 保育園	80 名	定員(95 名 弾力運営あり)
		合計:470 名(最大 565 名)	

(2) 職員体制

理事長	：	1 名(柏しんとみ保育園園長兼務)
園 長	：	5 名(理事長と業務執行理事、園長兼務)
主任保育士	：	5 名
保育士	：	115 名(うち派遣保育士 13 名)
看護師	：	6 名
みなし保育士	：	12 名(柏市特別配置、障がい職員 2 名)
栄養士	：	5 名
調理員	：	18 名
事務員	：	2 名(事務専任)
アシスタント	：	3 名(うち障がい職員 1 名)
保育アドバイザー	：	2 名(H29 & 30 年度 定年退職職員)
合 計	：	173 名

※ R02 年 4 月 1 日現在の構成となるが、継続的に人員確保

(3) 広報活動

「保護者、園児、地域」を中心に、当法人に対する理解及び保育の本質を更に伝えられるようネット配信(法人だより等)を継続する。

また、社会充実計画の延長上から、地域の方々への行事招待及び毎年理事長自らの講演や外部研修会を積極的に参加する。

他、実習生を行政とともに積極的に受入、人材確保の目的とした活動も視野に入れ実施する。



3. 付加価値事業の推進

各保育園との共有化及び法人としての付加価値を高める事業活動である。主に、『わくわくアートタイム』『わくわくタイム』を全園と共有し、特化する指導者のもと全園の活動を一元化することで子どもたちの人間教育及び職員の育成に繋げるものである。

(1) わくわくアートタイム活動(高間道子先生/元牛久みらい保育園園長)

① 活動目的

保育園での最終学年となるさくらぐみの活動の中で、絵画やかきかたを通して、表現力・想像力・思考力を伸ばしていけるようにするとともに、就学に向けて知的好奇心を高め、学習の基本的な態度を伸ばしていけるようにする。

- 絵画
様々な用紙や画材を使用したり五感を使う活動を通して、表現の楽しさを経験し、新たな気づきや発想を広げていけるようにする。
- かきかた
鉛筆で書くことに慣れ文字を書くことへの意欲を高めるとともに、筆文字を書く楽しさを経験する

② 活動内容

月2回、午睡をしなくなった午後の時間を活用して、1回1時間程度の活動をする。

- 絵画
観察画・想像画・デザイン画
- かきかた
線の練習・ひらがなの練習・一筆書き・点つなぎ・絵合わせ・習字(後半3回程度)ほか

③ 活動留意点

活動の中で、話を聞く態度や挨拶、発表のしかた、用具の準備や片付け方、友達の発表を聞いたり認め合うことなど、就学に向けて必要な力を伸ばしていけるように意識しながら指導していく。



④ 活動計画

	絵 画	かきかた
4月	おともだちの顔(コンテ画)	名前、線の練習
5月	大根の観察画	ひらがな①、一筆書き
6月	100かいだての家	ひらがな②、○△の写し描き
7月	パイナップルの観察画、	ひらがな③、点つなぎ
8月	海の中(透明シート使用)	ひらがな④、点つなぎ
9月	砂絵	ひらがな⑤、絵合わせ間違い探し
10月	マンダラぬり絵(色鉛筆)	ひらがな⑥、絵合わせ間違い探し
11月	長い紙に描いてみよう	習字、ひらがな⑦、点つなぎ
12月	物語の絵「かさじぞう」(墨と筆)	ひらがな⑧、絵合わせ間違い探し
1月		書き初め、ひらがな⑨、絵合わせ
2月	〇〇〇から想像して描いてみよう	文集表紙の筆文字
3月	おともだちの顔(コンテ画)	楽しかったことを絵と文字で書いてみよう

⑤ 今年度取り組みたい課題

わくわくアートの時間、各園決まったサポートの先生に入っていただき、活動を引き継いでいけるようにしたい。

他の特別活動との調整で、昨年度より活動回数が少なくなっているが、内容を減らさずに各園で取り組んでもらえるように、活動方法を検討していく。

(2) わくわくタイム活動(中山力公先生)

① 活動目標

- 外環境や社会資源を活用し、四季の自然環境を味わいながら慣れ親しむ
- 園外活動を通して安全管理能力を身につける
- 積極的に自然環境に関わる機会を持ち、四季の移ろいを観察しながら自然の恵みに感謝する
- 特別な経験から“記憶に残る”活動になるようにしていく。



② 活動目的

- 園バスを利用し、徒歩では行くことが困難な大きな公園等で活動
- 全身を使っでの遊び、五感を刺激する環境で“情緒の安定”に繋がる活動
- 公共施設を利用することで社会性を身につける
- 外環境(ひと・もの・こと)を活用しながら、四季の自然環境を味わい慣れ親しむ
- 多忙な家族に代わって積極的に自然環境に関わる機会を持つ

③ 活動留意点

- 活動を安全に楽しむため、お話を聞くことができる姿勢を大切にしてい
- 広い公園での活動が多いため、自分の立ち位置を把握すること、周りに注意を払えるように声かけし、衝突などの事故を未然に防ぐ。
- 活動場所で利用させて頂いたことに感謝し、ありがたいの心を忘れない
- ごみ拾いの時間を大切にし、ごみに対する価値観をもつことができる。(見たことのないゴミ・ガラス・たばこ)は触れない

④ 活動日時

- 曜日について
 - ・ 各園月 2 回の曜日固定とする
 - ・ 行事等で活動回数が少ない月もある。7 月、8 月は熱中症予防のため行わないこととする
 - ・ バスの移動時間(片道 10～30 分)を除いて活動時間は 40～60 分とする。
 - ✓ 柏さかさい保育園 : 第 1・第 3 火曜日
 - ✓ 牛久みらい保育園 : 第 2・第 4 火曜日
 - ✓ 柏しんとみ保育園 : 第 1・第 3 木曜日
 - ✓ 柏 ECEC 保育園 : 第 2・第 4 木曜日
 - ✓ 柏中央保育園 : 第 2・第 4 金曜日



➤ 時間帯について

13:30～15:00(おやつなし) / ・13:30～15:30(おやつあり)

移動時間を除いた活動できる時間や園に戻ってからの活動、先生や早帰り園児の都合を考慮し、時間帯は前後する。

その都度、園に相談していくこととする。

⑤ 活動場所

バスで片道 30 分以内の公園で活動する。施設外環境を利用するため、天候に左右されることがある。悪天候時(雷を除く)は図書館や体育室を利用し、対応していく。活動場所は年間行事を基にするが、活動場所のコンディションによって候補地を変更する場合がある。

なお、活動する場所での内容は、自然を使った遊び/複合遊具遊び/じゃぶじゃぶ池遊び/アスレチック遊び/サッカー/自転車乗り/図書館にて読書/植物観賞(コスモス・チューリップ)/急斜面上り/芝滑り/斜面でボール遊び

⑥ 活動計画(表)

活動場所No.	活動場所	令和2年度わくわくタイム計画表						
A	南部公園	回数	KS	KC	UM	KT	EC	
B	増尾城址公園	4月	①	M	M	T	M	M
C	手賀の丘公園		②	E	E	V	E	E
D	県立柏の葉公園	5月	①	B	B	S	B	B
E	あけぼの山農業公園		②	B	B	X	B	B
F	北柏ふるさと公園	6月	①	L	L	U	L	L
G	柏ふるさと公園		②	N	N	W	N	N
H	柏西口第1公園	7月						
I	リフレッシュプラザ柏							
J	柏リフレッシュ公園	8月						
K	怪獣公園							
L	流山市総合運動公園	9月	①	P	P	Y	P	P
M	やまびこ公園							
N	野々下水辺公園	10月	①	D	D	V	D	D
O	中原防災ふれあい公園		②	A	A	S	A	A
P	手賀沼親水広場	11月	①	E	E	T	E	E
Q	沼南こども図書館		②	G	G	V	G	G
R	柏中央体育館の幼児体育室	12月	①	J	J	U	J	J
S	牛久運動公園							
T	洞峰公園	R3.1月	①	J	J	S	J	J
U	乙戸沼公園		②	I	I	T	I	I
V	霞ヶ浦総合公園	R3.2月	①	L	L	U	L	L
W	JAXA筑波宇宙センター		②	G	G	S	G	G
X	蛇沼公園	R3.3月	①	O	O	T	O	O
Y	牛久自然観察の森		②	M	M	U	M	M
Z	牛久中央図書館							



令和 02 年度 柏さかさい保育園 事業計画

■ 保育目標

通園児童は、保護者が就労等保育を必要とする時間、育ての親である保育士とたくさんの愛情の中で、自尊感情を育て経験体験を通して「思いやり と生きる力」を育み安心して暮らしていく。その中で、がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を身につけ、笑顔・挨拶・思いやり・感謝の約束を常に心がけ、興味・関心・好奇心・意欲・意志を育て規律ある生活習慣を図る。

■ 特別保育事業

1. 延長保育 短時間保育(07:00～08:30) 標準保育(18:01～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり)
9. つどいの広場(出前保育)
10. 社会見学・屋外活動・ボランティア活動

■ 園児数(R02.04.01 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	24	24	25	24	24	24	145

※ うち 4 名 加配必要園児

■ 職員構成

職 員	園 長	主 任 保 育 士	保 育 士	調 理 員	栄養士	事務員	みなし 保育士	看護師	保育補助	保育 アドバイザー	合計
人 員	1	1	29	5	1	1	2	1	1	1	43

※ 事務は本部業務も兼ねる

※ 障害職員 1 名(保育補助及び清掃担当)



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式、進級式、春まつり(保育参観、懇談会)
5 月	こどもの日の集い、尿検査(4, 5 児)、遠足、個人面談、10 〰️ウォーク(さくら)、お泊り保育(5歳児)、歯磨き指導(幼児組)
6 月	内科検診、歯科検診、スポーツテスト(4, 5歳児)
7 月	七夕会、お泊り保育(4歳児)
8 月	夏まつり、異年齢地域交流、お泊り保育(3歳児)
9 月	引き渡し訓練、ふれあいパーティー
10 月	親子運動会、視力検査(5歳児)
11 月	交通安全指導、5 〰️ウォーク(ひまわり)、遠足
12 月	クリスマス生活発表会、もちつき、内科検診
1 月	マラソン記録会
2 月	節分、マラソン交流会、お店屋さんごっこ、卒園遠足(さくら組)、視力検査(3 歳児)、冬まつり
3 月	入園説明会、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・ボランティア活動・映画会

※ 誕生会:保護者の方も参加し、保育参加をしていただきます。

■ 地域貢献

- ・ 『夏まつり』 地域のコミュニティとして開放し参加型とする
- ・ 『子育て支援』 広報活動を積極的に行い、より多くの方々への子育てに対する不安を聞き、子育てに対する手助けをする
- ・ 『公園里親活動』 2,3,4,5 歳児が園周辺の清掃活動や公園のトイレの清掃を行い地域へ対するボランティア活動を行う
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく
- ・ 近隣の中学生の職場体験、高校のインターシップ、支援学校の職場体験の受け入れを積極的に行い、未来の親作りの手助けをする

■ 令和 02 年度 保育活動

カンガルーケア、抱きしめ言葉を保育者の義務とし、安心して過ごす環境を整え、外環境や四季折々の身近なものとの関わりから五感を刺激し、見て学ぶ保育を提供していく。



幼児組は昨年に引き続き、2週に1回、4、5歳児対象に外部委託の専門員による体操指導。法人職員による音楽リズム指導を通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。

また、3、4、5歳児対象に楽器に触れ音楽指導を行う。

その他、さくら組の午後の時間に、法人職員による文字や絵画に触れ経験を豊かにする「わくわくアート」やバスに乗り普段の保育活動中には行けないような場所に出かけ、体を動かし遊ぶ楽しさを共有する「わくわくアイム」を取り入れ、イキイキワクワクハラハラドキドキを感じながら地域の子どもたちや公共の遊具の遊び方など遊びながら社会性を身に着け、また、人材活用によって保育士の時間を有効活用する。

■ 自然とのふれあい

柏さかさい保育園近隣の日暮誠さんの畑で、大根堀の体験や近隣の拡大した公園での活動を取り入れる。

■ 保護者との協同

保護者会役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同する。また、「おやじの会」との連携も引き続き推進し、父親の育児参加や保育園活動（夏まつり、親子運動会の参加等）の発展に繋げていく。



令和 02 年度 柏中央保育園 事業計画

■ 保育目標

- ・ 育ての親である職員全員が園児一人一人の『愛された育ち』を保障し、保育方針にもある「ぎゅっとして・みつめて・きいて・よんで」を忘れずに生活する
- ・ 安心できる保育生活の中で、新しい経験体験、チャレンジを意識した保育活動を展開できるよう心掛け、がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を大事に、規則正しい生活習慣を図る
- ・ 仲間との集団生活の中で、相手の気持ちを考えられる、『思いやりの心』が育めるよう意識した声掛けを心掛けると共に、異年齢交流も大事にする
- ・ 園庭がなくても体を動かす楽しさを感じることができるよう園外活動を行い、イキイキワクワクハラハラドキドキを感じながら経験体験ができるような保育を心掛ける
- ・ みんなのひろばでのリズムにあわせた音楽リズム遊び、運動遊び(2週に1回)、及び週1回の遠距離散歩(スペシャル・デイ)、園バス(2歳児以上)での園外活動も月2回取り入れる

■ 特別保育事業

1. 延長保育
(短時間 朝 7:00～8:29・16:31～20:00 通常 18:01～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり)
9. つどいの広場(出前保育)
10. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動
11. 公園里親活動(柏西口第一公園・豊四季台公園)

■ 園児数(R02.04.01 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	12	20	20	19	19	20	110

※ うち 5 名 加配必要園児



■ 職員構成

職員	園長	主任保育士	保育士	調理員	栄養士	事務員	みなし保育士	看護師	保育補助	保育アドバイザー	合計
人員	1	1	24	4	1	(1)	3	1	0	0	35

※ 事務員は保育士兼務

■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園・進級式・春まつり・お花見・バス遠足
5 月	子どもの日の集い・10キロウォーク(年長)・大根掘り・尿検査
6 月	歯科・内科健診・個人面談・保育参加・5歳児お泊り保育・プール開き
7 月	七夕の集い、お泊り保育(4歳児1泊2日)・夏まつり
8 月	消防署見学(4・5歳児)・お泊り保育(3歳児)
9 月	引き渡し訓練、おじいちゃん・おばあちゃんふれあいパーティー・視力検査
10 月	ボランティア活動、親子運動会、秋まつり、ハロウィンパーティー
11 月	交通安全教室・第1回マラソン記録会
12 月	クリスマス生活発表会、内科健診、クリスマスクッキング・ボランティア活動
1 月	第2回マラソン記録会・年長児学校訪問、
2 月	節分・豆まきの会、歯科健診、4園合同マラソン交流会、冬まつり(懇談会)
3 月	ひなまつりの集い、入園説明会、卒園遠足、卒園式、修了式、ありがとうの会・地域と合同避難訓練

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定

※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待

■ 地域貢献

- ・ 『夏まつり』 : 豊四季台公園で参加型の夏まつりを開催
- ・ 『子育て支援』
妊娠期からの親育てを大事に、子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと考える。子どもへの関わり子育てのヒントとなるような



活動を定期的に行い、不安喜びを伝えあえるような仲間になれるよう架け橋にしていく

- ・ 『公園里親活動』

日頃から利用している公園がいつもきれいに保てるようゴミ拾い等の清掃を行う

■ 地域性の活動

柏中央保育園は園庭がないため、毎週水曜日をスペシャルディとし、目標を持って、朝 9 時から遠方に散歩に行ったり、買い物をしたり、園バスや公共のバスや電車を利用し園外での活動をするなど十分に楽しみながら活動を行う。 また、幼保小の交流も年1回から2回行い滑らかな接続を大事にする

■ 保護者のニーズ

- ・ 脳刺激、リズム感を養うために音楽リズム遊び
→年長児・年中児
- ・専門職員からの鍵盤ハーモニカ指導
→年中1月から年長児(年長児のクリスマス生活発表会に向けて課題をもって行う)
- ・2週に1回、外部委託の専門員による運動指導
- ・わくわくアートタイム、保育アドバイザー高間先生による、文字を書くこと、描画表現活動を行う。想像力・思考力・表現力を育むための時間となり、子どもたちが積極的に取り組む素晴らしい時間になる
- ・わくわくタイム、バスに乗り初めての場所に行き、アグレッシブに活動を行うより活発に積極的に遊びを見つめることができた新しい発見が詰まった時間
- ・年間計画を立て食育に取り組み、全体的に行う食育と、朝の時間を利用し希望者がお手伝いする時間(玉ねぎの皮むきなど)を作り、調理師と関わる時間を作ることにより関係性が深まる

■ 自然とのふれあい

- ・柏さかさい保育園近隣の日暮誠さんの畑で大根掘り体験
- ・プランターを使い各クラスで責任をもって野菜や稲を育てる

■ 保護者との協同

保護者会役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同すると共に「おやじの会」との連携も引き続き推進し、父親の育児参加や保育園活動の発展に繋げていく。



保護者が保育参加できる期間を作り、希望者に日頃の園の様子を見て頂く機会を作る。

冬まつりは、子どもたちにとって思い出に残る楽しい一日になるよう保護者が主催となり職員と協力してゲームを5から6種類用意しおまつりを開催。



令和 02 年度 牛久みらい保育園 事業計画

■ 保育目標

「思いやりと生きる力」を伸ばすことを大きな目標とし、そのために一人ひとりに愛情深く接し、保育方針にそって、より良く見つめ・抱きしめ・耳を傾けて良く聴き・たくさん話しかけながら日々子どもに向き合っていく。子ども達が意欲的に活動できるように、毎日の生活がわくわく楽しめるような保育を工夫し、活動を通してがんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を身につけていくことを目標とする。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(6:30～7:00 18:00～20:00)
2. 一時預かり保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターンシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり・保育参観・みらいファミリー会)
9. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動
10. 休日保育
11. 病後児保育(体調不良児含む)

■ 園児数(R02.04.01 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	9	18	18	17	18	18	98

■ 職員構成

職 員	園 長	主任 保育士	保 育 士	調 理 員	栄 養 士	事 務 員	みなし 保育士	看 護 師	保 育 補 助	保 育 ア ド バ イ ザ ー	合 計
人 員	1	1	22	4	1	1	0	2	2	0	34



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式 お花見
5 月	こどもの日のつどい、バス遠足、春まつり(保育参観・懇談会)、田植え体験(5 歳児)、マラソン記録会①
6 月	内科健診、歯科健診、歯みがき指導、個人面談、パパ保育体験、お泊り保育(5 歳児)、サツマイモ苗植え
7 月	お泊り保育(4 歳児)、プール開き、七夕の集い、じゃがいも掘り
8 月	夏まつり(地域のおまつりに参加)、視力検査(4 歳児)、プール納め、お泊り保育(3 歳児)
9 月	稲刈り体験(5 歳児)、おじいちゃん・おばあちゃんふれあいの会、介護施設訪問(5 歳児)
10 月	親子運動会、さつまいも掘り(4・5 歳児)、秋まつり(カレー作り予定)
11 月	バス遠足、筑波山登山(5 歳児)、人参掘り(3 歳児)
12 月	クリスマス生活発表会、大そうじ
1 月	内科健診、歯科健診、もちつき
2 月	節分豆まきの会、冬まつり(保育参観・懇談会)、マラソン交流会(4・5 歳児)、マラソン記録会②、R3入園説明会、パンづくり体験(5 歳児)
3 月	ひなまつり集会、卒園遠足、さくらさんありがとうの会、卒園式、入園前保育体験会、お楽しみ会、園外保育の日

毎月行事：誕生会・非常災害訓練・身体測定・映画会(乳児・幼児)・交通安全教室・ボランティア活動

誕生会：お子さまの誕生月に保護者の方を招待し、保育参観・お食事をさせていただく

毎週・隔週：体操指導(4・5 歳児)・音楽リズムあそび(全クラス)・わくわくアートタイム(5 歳児)

・わくわくタイム(5 歳児)

■ 地域貢献

- ・ R2年4月、ひたち野うしく地区に新たに中学校が開校、保幼、小、中までを含め、地域連携、交流活動、情報交換をしていく
- ・ 夏まつりは、ひたち野うしく小学校で行われるひたち野地域の夏まつりに参加し、地域の子育て仲間とともに保育園を核としたコミュニティーづくりを目指していく
- ・ 地域子育て支援センター“としおちゃん”では、イベントや行事をきっかけに園に気軽に来ていただけるように、また保育園の専門性を生かして相談しやすい関係づくりに努めていく。地域のニーズに合わせた子育て支援活動を実施できるように情報の収集や外部への情報発信に取り組んでいく



- ・ ボランティア活動として、園外活動に行ったときやわくわくタイムの際にはゴミ拾いを引き続き行っていく

■ 令和 02 年度 保育活動

- ・ 運動は、専門指導員による体操指導を月 2 回取り入れていく(4・5 歳児)
- ・ 音楽は、綱川保育士指導のもと、リズム遊び、ピアノの指導を系統立てて行っていく。また園全体での取り組みとして、うたごえ集会を月 1 回程度行っていく
- ・ 文字を書くこと、描画表現については、高間保育アドバイザーによる、わくわくアートタイム(5 歳児)で知的好奇心を高めていく活動を取り入れ、室内活動をより豊かにしていく
- ・ 五感の刺激、子どもたちの体力づくり、社会性を育むため、積極的に外環境の活用、園外活動を実施していく(わくわくタイム)
- ・ 看護師による保健活動は身体の健康づくりだけでなく、命の大切さやマタニティ体験等を通して心の育ちも考えていく
- ・ 食育活動は調理室と連携しながら、野菜の栽培や収穫、日常の生活や行事を通して食を楽しむ経験を多く取り入れていく

■ 病後児保育

事業開始 7 年目に入り、引き続き保健センターでの事業案内、市内小学校児童クラブへのパンフレット配布など積極的に広報活動をすすめていくとともに、利用実績を踏まえ、牛久市、医師会と連携して、より利用しやすい事業を目指す。

■ 他機関との協同

茨城大学農学部に出かけ、わくわくドキドキの体験、自然とのふれあい、五感の刺激、食育についての興味・関心をさらに深める楽しい活動を取り入れていく。また、野菜の収穫だけではなく、年間を通して作物の成長を感じられるように、季節に合わせた活動を行っていく。

■ 保護者との協同

保護者会『みらいファミリー会』の活動は4年目となり、夏まつり出店や絵本の貸し出し文庫、おそうじ会や園庭整備などにもたくさんの保護者が参加してくれている。引き続き、活動に参加することで保護者同士のつながりを深め、子どもたちのより良い育ちの為に、大人たちみんなで子どもたちみんなを見守る“村づくり”を進めていく。



令和 02 年度 柏しんとみ保育園 事業計画

■ 保育目標

「思いやりと生きる力」を伸ばすことを大きな目標とし、保育方針にそって、愛情深く、より見つめ・抱きしめ・耳を傾けて聴き・たくさん話しかけながら、日々子ども達一人ひとりに向き合っていくこと。その為に、『がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)』を身につけ、「笑顔 挨拶 思いやり 感謝」の心を育てながら、「興味・感心・意欲・意志」を感じられる環境づくりと心の成長を意識目標とする。

また、柏中央保育園、柏さかさい保育園、柏 ECEC 保育園との連携もより深め、マラソン交流会、運動遊びなどの体力作り、仲間意識、刺激し合える仲間づくりの活動も意図的に取り入れる。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(18:00～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
6. 障害者や小学生、中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
7. ファミリー交流事業(四季のまつり)
8. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動(公園里親登録)

■ 園児数(R02.04.01 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	6	18	20	17	18	18	97

■ 職員構成

職 員	園 長	主任 保育士	保 育 士	調 理 員	栄 養 士	事 務 員	みなし 保育士	看 護 師	保 育 補 助	保 育 ア ド バ イ ザ ー	合 計
人 員	1	1	19	3	1	(1)	5	1	0	1	32

※ 事務員はみなし保育兼務

※ みなし1名は産休中



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式・進級式・お花見・春まつり
5 月	子どもの日の集い・尿検査(4、5 歳児)・バス遠足・10 キロウォーク(5 歳児)・歯磨き指導
6 月	個人面談・スポーツテスト(4、5 歳児)・歯科検診・内科検診・お泊り保育 (5 歳児)・消防訓練、
7 月	プール開き・七夕の集い・お泊り保育 (4 歳児)・夏まつり
8 月	お泊り保育(3 歳児)・プール納め・
9 月	大災害訓練・引き渡し訓練・交通安全教室・ふれあいの集い・視力検査(5 歳児)
10 月	親子運動会・秋まつり(鑑賞会)・秋の遠足会(2・3・4・5)・メグミルク工場見学(4歳)カスミ食育体験(5歳)
11 月	大根掘り・芋ほり体験・視力検査4歳児
12 月	クリスマス生活発表会・ご褒美会チーバー君と遊ぼう・マラソン記録会・おもにつき大会・マラソン記録会・大掃除・歯磨き指導
1 月	冬まつり・マラソン記録会・年長児学校訪問・内科検診・視力検査 3 歳児
2 月	節分・豆まきの会・5 園合同マラソン交流会・卒園遠足(5 歳児)
3 月	ひなまつりの集い・入園説明会・お兄さんお姉さんありがとうの会・卒園式・ならし保育

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・ボランティア活動・食育活動

乳児、幼児映画会・安全点検・家族の生活目標表彰式

※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待、お食事と保育参観

■ 地域貢献

- ・ 『夏まつり』 地域交流への参加
- ・ 地域発信し地域の方々へも参加を集う(お餅つき、鏡餅作成)
- ・ 子育て支援活動の無認可だが、『地域交流会や子育て支援』を独自に活動に行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所をめざし、園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見やお互いの学びの場となるようにと考え行う
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく
- ・ 街体験学習の取り組む近隣小学校についても積極的に取り組む
- ・ 保育士実習、看護師実習生の受け入れについても、職員自身の振り返りや伝える事で意識の変化をも学び合える機会となる



また、童心会の保育の本質を伝える良い機会となりそして良き未来の保育士仲間となりうる人材の受け入れとして積極的に実施していく

■ 令和 02 年度 保育活動

- ・ 童心会他4園との交流会
- ・ 乳児、1歳から3歳未満児保育においては、カンガルーケア、抱きしめ言葉が日常の基本である事常に忘れず、安心して過ごす環境を整え、外環境や身近なものとの関わりから、五感を刺激し見て学ぶ、体験して学ぶ保育を提供していく
- ・ 幼児体育：2週に1回、4、5歳児対象に外部委託の専門員による体指導が行われる。幼児体育においては新たな場所を確保し専用グラウンドへバス移動での体験である(雨天時 園のみんなのひろば)
- ・ 音楽リズムを通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。また、3、4、5歳児対象に楽器に触れ音楽への楽しみや集中力を養う
柏さかさい保育園より音楽リズム(リトミック)講師による。人間形成に欠かせない集中力、自立心、競争心、好奇心、協調性、感受性、即時反応力などと言った要素をバランス良く心と身体、そして脳の発達、自己表現を豊かにする
- ・ わくわくアートタイム: 専門講師による「絵」・「文字」5歳児
- ・ わくわくタイム: 園外活動(バスを利用して広い公園、公共の利用)

■ 自然とのふれあい

柏しんとみ保育園、近隣の公園(流山市、柏市)などを多く利用し公共の公園を使用する。その際危険個所の確認、歩くマナーを知り伝え、一緒に考えながら命の大切さを知る事を意識している。体験と探検を通して近隣の方々との挨拶を交わす事も大切にし、変わりゆく季節、五感を通して感じ合えるように安全に歩き楽しみ感をもって、園外保育活動を取り入れていく。

また、柏さかさい保育園近隣の日暮誠さんの畑では大根掘りを体験する。

■ 保護者との協同

保護者会(ファミリー会)役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同する。保育園活動(冬まつり、親子運動会の参加等)の発展に繋げていく。



令和 02 年度 柏 ECEC 保育園 事業計画

■ 保育目標

- ・ 育ての親である職員全員が園児一人一人の『愛された育ち』を保障し、保育方針にもある「ぎゅっとして・みつめて・きいて・よんで」を忘れずに生活する
- ・ 安心できる保育生活の中で、新しい経験体験、チャレンジを意識した保育活動を展開できるよう心掛け、がんばること(体の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(心の力)を大事に、規則正しい生活習慣を図る
- ・ 仲間との集団生活の中で、相手の気持ちを考えられる、『思いやりの心』が育めるよう意識した声掛けを心掛けると共に、異年齢交流も大事にする
- ・ 園庭がなくても体を動かす楽しさを感じることができるよう園外活動を行い、イキイキ・ワクワク・ハラハラ・ドキドキを感じながら経験体験ができるような保育を心掛ける。 みんなの広場でのリズムにあわせた音楽リズム遊び、幼児体育(2週に1回)、及び週1回の遠距離散歩(スペシャル・ディ)、園バス(2歳児以上)での園外活動も積極的に取り入れる。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(18:00～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
6. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
7. ファミリー交流事業(四季のまつり)
8. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動

■ 園児数(R02.04.01 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	8	15	17	18	14	18	90



■ 職員構成

職員	園長	主任 保育士	保育 士	調理 員	栄養 士	事務員	みなし 保育士	看護 師	保育 補助	保育 アドバイザー	合計
人員	1	1	21	2	1	(1)	2	1	0	0	29

※ 事務員は保育士兼務

■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園・進級式・お花見・バス遠足・子どもの日の集い
5 月	春まつり(懇談会)・10 キロウォーク(年長)・尿検査
6 月	運動能力測定・歯科・内科健診・個人面談・お泊り保育(5 歳児)
7 月	プール開き・七夕の集い・お泊り保育(4 歳児)・夏まつり
8 月	消防署見学(4・5 歳児)・プール納め・カスミマーケットツアー
9 月	引き渡し訓練、おじいちゃん・おばあちゃんふれ愛パーティー・お泊り保育(3 歳児)
10 月	親子運動会、秋まつり、ハロウィンパーティー
11 月	マラソン記録会・大根掘り
12 月	クリスマス生活発表会、クリスマスクッキング・もちつき
1 月	年長児学校訪問、内科健診
2 月	節分・豆まきの会、5園合同マラソン交流会、冬まつり(懇談会)
3 月	ひなまつりの集い、入園説明会、卒園遠足、ありがとうの会、卒園式、

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定

※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待

※ 内科及び歯科検診は柏さかさい保育園と柏中央保育園と同時実施

■ 地域貢献

- ・ 『夏まつり』 柏中央保育園と合同で地域と協力して地域参加型の夏まつりを行う。
- ・ 外環境・自然環境・四季環境を通した保育を通して、地域の方とも挨拶や会話を交わし、地域を活性化できる保育園を目指す。



- ・ 小学校接続を目的にした、幼保小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく
- ・ 園見学を通して、子育てをするお母さんの話を聞いたり、相談に乗り群れで育ちあうことの大切さを伝えていき、頑張っているお母さんに寄り添える存在であることを発信していく。

■ 令和 02 年度 保育活動

・音楽リズム遊び

脳刺激、リズム感を養ったり、五感の刺激や情緒の安定を図る。

3、4、5歳児クラスは年齢に合った楽器の指導も行っていく5歳児(4歳児後半)からは就学に向けてピアノ力の指導も行っていく。

・幼児体育

新講師による幼児体育指導を行う。

フットサル場で思い切り身体を動かしながらの指導となるので、日常ではできない体験を通して身体を動かす楽しさを味わえるようにする。

・園外保育活動

園周辺の公園が少ない為、歩いて公園に行くだけではなく園バスに乗って公園に行くという活動も多く取り入れていき、固定遊具で身体を動かして遊べる機会も確保していく。

・わくわく活動

わくわくアートやわくわくタイムは、専任講師からの指導を受けながら、五感を刺激した時間となり、5歳児だからこそその活動は、園児にとっても楽しみの活動となり、園職員以外との関りで、日常では見られない園児の力や姿を知ることができ、職員としても日々の保育へのヒントも得ることができている。

■ 自然とのふれあい

- ・ 柏さかさい保育園近隣の日暮誠さんの畑で、大根掘り体験

■ 保護者との協同

保護者会役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同する。